

こうろかんあと 鴻臚館跡

所在地/福岡市
指定/史跡



鴻臚館跡



鴻臚館出土遺物

こうろかんあと
鴻臚館跡は、福岡市中央区のおおほりの大濠公園のそばにあります。外国からやってきた使節（※1）をもてなすためのもので、現在の福岡・大阪・京都の三カ所（つくしのむろつみ）にあり、その前身は筑紫館と呼ばれていました。日本の古い歴史書（『日本書紀』）には、約1350年前に新羅（※2）の国使（※3）をもてなしたとあります。

鴻臚館は、元々唐（※4）や新羅の使節をもてなし、宿泊させるための施設でしたが、後には貿易商人のための施設となります。平安時代末、貿易を行う場所が博多駅の方に移るまでは、国際交流の重要な場所でした。

発掘調査を行った結果、建物・塀・溝・トイレなどが見つかかり、北館と南館（ほつかん なんかん）の二つの施設が同時に建っていたことが分かりました。また、多くの瓦（かわら）の他、中国などで作られた食器、ガラスの器（うつわ）など国際色豊かな品物があり、外国

との交流を物語っています。平成7年には展示館ができ、遺跡（いせき）が掘り出されたままの状態で見ることができます。

- ※1 使節：国の命令で他国（ほけん）に派遣される人
- ※2 新羅：昔の朝鮮半島にあった国
- ※3 国使：国の代表として他国に派遣される人
- ※4 唐：昔の中国

【もっとくわしく調べたい】

○鴻臚館跡展示館 福岡市中央区城内1 Tel 092-721-0282

【鴻臚館に行ってみよう】

○地下鉄赤坂駅から徒歩で約10分